

監督主演音楽 遠藤賢司

不滅の男

エンゲル対日本武道館

製作 柳井省志 脚本・監督・音楽・主演 遠藤賢司 プロデューサー 土本貴生 アソシエイトプロデューサー 関端ひかる 撮影監督 長田勇市 (J.S.C.) 照明 湯浅康正 美術 森正
スタイリスト 勝俣淳子 録音 郡弘道 音楽録音 鳥光浩樹 音響 木村史郎 楽器担当 佐野亨 舞台監督 萩原克彦 編集 村上雅樹 遠藤賢司 タイトルデザイン 赤松陽構造
制作協力 遠藤賢司仕事室 製作プロダクション アルタミラミュージック 
オリジナルサウンドトラック盤・主題歌 純音楽魂の唄 / 遠藤賢司 (アルタミラミュージック)

製作・配給 アルタミラピクチャーズ

www.fumetsuman.com

©2005 ALTAMIRA PICTURES, INC.

走り続ける孤高のギター・シンガー・遠藤賢司
 武道館で繰り上げられたその魂の叫び
 完全映画化!

純純 映画音楽

前人未到、唯一無二、エンケンが挑む武道館ライブとは。

武道館のアリーナに忽然と立ち現れた“200台のアンプを積み上げた”<富士山>。

その下には<四畳半の廃屋>。縁側の外には、洗濯物が揺れている。

軒先には<柿の木とグランドピアノ>。

アリーナを突っ切る<あぜ道>には枯れススキがざわめいている。

その先端に<ドラムステージ>。

2005年1月24日、エンケンは、生涯最高のライブパフォーマンスで武道館に挑んだ。

そして監督も自らが務め、その全てが遂に映画となった。

演奏曲目

不惑の男 / 満足できるかな / カラーライス / 踊るよベイビー / 雨がりのビル街 / 外は雨だよ / 夜汽車のブルース / 歡喜の歌 - 死んじゃったお母さんの夢 / 男のブルース / 東京ワッショイ / ド・素人はスクンデロロ / 夢よ叫べ / ひとりぼっち / 純音楽魂の唄

1947年、茨城県出身。大学時代、母から流れくるジャズ・テイムのラブ・ソング・ロッキング・アン・ド・ルビンを聞き、初めて音楽の世界に入る。デビュー当初は、木製の枠を越えたハプフォード・サウンドが注目される。ジャズ・ブルや形式は問われず表現する「純音楽」を掲げ、自らを「純音楽家」と称する。三島由紀夫の割腹自殺を歌った「狂い狂い」が大ヒット。後は大規模なツアーを始めた。アーティストに求められる音楽活動を現在もなお続けている。その活動に賛同する若手アーティストからの信望も熱く、曽我部恵一、くるり、銀杏BOYZ、サンボマスターなどにも多大な影響を与えている。あらゆる音楽性を呑み込んだ「東京ワッショイ」を発表後、(遠藤賢司)バンド、2003年、エンケン&カレライスを結成。映画での活躍も多く、80年代「ハリウッド」監督・長瀬高文では主演、音楽。2003年「アインデン」&「テイ」(監督 田口トモロ)で音楽を提供。そして本作が遂に初監督作品となる。

遠藤賢司エンケンライブファイル

©2005 アルタミラビタチャーズ 2005年/35mm/カラー/ピスタサイズ/ドルビーデジタル/83分

10月15日(土)より待望のレイトショー 連日 21:20~

前売鑑賞券¥1,300(税込) 絶賛発売中 [当日料金: 一般¥1,800 学生¥1,500 シニア¥1,000]

●劇場窓口のみポストカード付特別鑑賞券¥1,300(税込) 発売中!

●9/27から劇場窓口にてスペシャルセット券 ¥2,000(税込) 発売! ※限定数販売のため、お求めは早め。

(映画主題歌「純音楽魂の唄」7インチアナログレコード盤 + 特製映画缶バッジ + 前売鑑賞券)

テアトル新宿

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館隣りB1F
 www.cinemabox.com Tel.03(3352)1846
 毎週水曜日はサービスデー ¥1,000均一

